

巻頭写真 メタセコイアの自生地 (Natural habitats of *Metasequoia glyptostroboides* HU et CHENG)

メタセコイアは、現在、中国湖北省利川市とその周辺の数カ所にものみ自生している。自生地でのメタセコイアの生育地は、水分条件が非常に恵まれたところに限られる。写真1は、現生種として最初に発見された利川市東部、磨刀溪のメタセコイア。メタセコイアが生育している地面は、谷底の水田面から約1.5mの高さにある。写真2と3は利川市忠路区桂花のメタセコイア林の林床。写真2の林分では高木は谷底の水路沿いに多い。根は水面に向かって伸長し、根の一部は水に洗われている。写真1と2の生育地は、小谷谷底が本流谷底と接する場所に位置する。写真3は小谷の谷頭部にみられた、胸高直径30cmから80cmの27本のメタセコイアから構成される小林分。周囲のトウモロコシ畑は乾燥していたが、メタセコイア林の林床は土壌が厚く堆積し、地下水がしみ出していた。(百原 新 Arata MOMOHARA)

